

植物多様性センターの「モジモジ4兄弟」

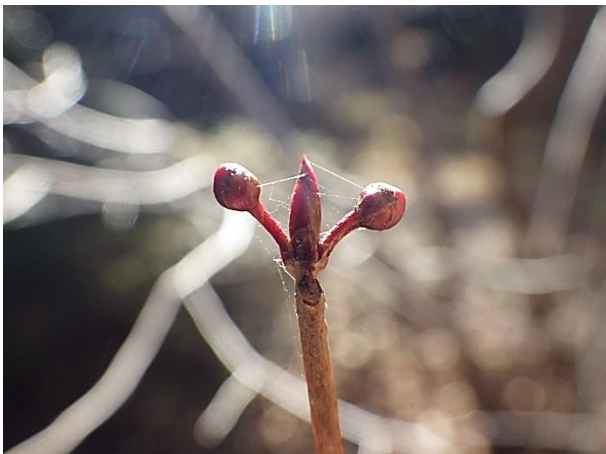
クスノキ科のクロモジ属の植物は、冬芽観察の定番で学習園には6種があります。そのうちそっくりなのが、クロモジ、シロモジ、アブラチャン、ダンコウバイです。いずれも黄色の花を咲かせ、葉芽と花芽が別で「カニの目」の愛称でもおなじみです。ほかにも園内では、中国から導入された常緑の薬木、テンダイウヤク（天台烏薬）や、半落葉で混芽をつけるヤマコウバシがご覧になれます。



クロモジ:大きな尖った葉芽の横に花芽がつき柄は斜上する



シロモジ:葉芽と花芽が大きく、柄は開いて横に張り出す



アブラチャン:葉芽、花芽とも赤くて小さく光沢があり、柄は細長い



ダンコウバイ:丸い花芽は葉芽と離れて葉腋につき、柄は短い